

今程、3人による意見発表がありました。それぞれ、1学期をしっかりと振り返り、次への目標を明らかにしていて、とても良かったです。また、この3名を含めた井波中学生全員が、マスクの着脱に気を付けたり、黙食を行ったり、そして、屋内で熱中症リスクを避けることも考えた換気をするなど、感染予防に柔軟に対応しながら、徳を多く積み上げた学期だったと思います。こうした中、私が4月に大事にしようと話した4つのこと、挨拶、掃除、整理・整頓、歌心の成長具合はどうだったですか。例えば、挨拶は、学校内では先生以外の人、学校外では地域の方々などに「おはようございます」「こんにちは」と積極的に声をかけることができましたか。4つのことについて、じっくりと振り返り、課題に気づき、改善への策を導き、まずは実行に移して欲しいと思います。

さて、明日から40日間の夏休みに入ります。この日数は、南砺市内の中学校では最も長く、時間に直すと実に960時間となります。なぜ多くの夏休みをとっているかという点、授業があり登校する日々の流れの中では実行が難しいが、時間をかけてじっくりと物事に取り組むことで、自分の奥行きを深く豊かなものとして欲しい、そして、探究することの良さや素晴らしさを実感して欲しいとの願いがあるのです。ここで、夏休みの感想が「楽しかった」や「面白かった」という程度で終わることのないよう、私から皆さんに求めたいことをお話します。それは「さまざまな体験に触れ、質の高まりにこだわり、道徳性を磨いて欲しい」ということです。これは、ゲームやSNSを否定しているのではありません。しかし、身の回りを眺めてみると、さまざまな道徳的価値に繋がる現実に出会いますが、そこに時間を正しくかけることは、将来社会を生き抜く上で必要な自分軸づくりに繋がって行くものなのです。幾つかあげてみます。

- ・家の玄関掃除や花の水やりを毎日行うなど、家族の一員として働く。
- ・自由研究や工作を行ったり、絵を描いたりするなど、新しいものを創造する。
- ・自主トレメニューや課題に向き合い、苦しく辛くてもめげずに継続する。
- ・友達と遊びながら、仲間への思いやりや感謝の気持ちを深める。
- ・周りの助言には素直かつ謙虚に耳を傾け、自分の心の広さを広げる。
- ・ヘルメットをきちんとかぶったり、マスクを正しく着脱して感染予防に努めたりするなど、理解している命の尊さを表に表す。そして、
- ・地域の活動に積極的に参加したり、園児・小学生や高齢者との関わりを楽しんだりしながら、他者への尊敬の念を高める。 などです。

中学校は、社会に出る準備を進めるところです。教科などの専門性を養うことはもちろんですが、人格つまり人柄を高めることはさらに重要であると私は思います。私達井波中学

校は、南砺市でなく、富山県でなく、日本でも有数の道德性が高い学校を目指しています。不確実と言われるコロナ禍の日常を今後過ごして行く上において、よりよい成長に自らを導くための物差しとなる自分軸を、暑さや誘惑に負けず、鍛え磨いて来てください。

結びに、夏休みといえども、学習をきちんと継続することは当たり前のところです。1年生は1学期の復習を、高校に成績がつながっていく2年生は、1学期分に加えて1年生の復習にも意欲的に取り組んでください。そして、3年生は、勝負の夏です。得意科目のレベルアップ、苦手科目の克服にとことん努め、進学希望校合格の実力を固めましょう。

それでは、皆さんが命と健康を守りつつ、充実した40日間となることを期待するとともに、9月1日の始業式では、一段と人間力が増した姿となって会えることを楽しみにして、私の言葉とします。